

都連の運営にあたっては、以下の3点を基本的な考え方として大切にして、魅力ある都連を目指していきたいと考えています。

一つ目は、**情報の共有と合意の形成**です。組織内に情報の滞りや偏りをなくし、情報の共有化と共通認識をもって合意を形成していく。これは、理事会だけのことではなく、都連全体として意思疎通を図っていかなくてはならない。上意下達ではなく現場の意見を反映できる仕組みを大切にす。都連の組織の土台は加盟団体にあり、この加盟団体とのコミュニケーションを密にすること、現場からの声を聴き反映されるような風通しの良い状態の維持に努めていくことが、とても大切だと考えます。

二つ目は、**信頼と尊敬**です。お互いに相手を尊重し、敬意をもって接すれば自ずと信頼関係が生まれてくると思います。いろいろな意見の相違、あるいは価値観の多様性があっても良いと思います。そんな中で、スノースポーツに魅せられた同好の士が集い、ボランティアで運営にも携わるようになる。他者のために役立つことができる。ひいてはスキー界の振興、発展に貢献できる。これこそ喜びであり、そんな喜びを共有していけば都連を良くしていこうというモチベーションの向上につながり都連活性化の原動力となると思います。

三つ目は、**育成と成長**です。全国的なスキーヤーの減少に伴って都連会員も少しずつ右肩下がりに減少が続いています。加えて高齢化が進んでいる状況にあります。将来のことを考えれば、やはりジュニアを育成しスキーヤー全体の年齢層の幅を広げ、底辺を拡大していくことが重要であると考えます。先ずすぐできることは子供たちを雪上に連れ出すこと。自分たちの子供、孫、そしてその周りの友達たちを雪上に連れ出し、スキーの体験をしてもらう。このジュニア達の育成に力を注ぐと同時に、シニアも一緒になってスノースポーツを通じて心も身体もともに成長をしていく。この様なステージを都連として用意していく。そして、このステージで達成感を得る、あるいは自己実現を果たすことができる、この様な場を沢山用意できる都連は、きっと魅力ある組織となるでしょう。ただ、魅力ある都連を目指して業務を執行していくというのは、容易なことではないと思います。しかし、どうしても魅力ある都連を目指していかなくてはなりません。組織に魅力がなくなれば、組織もなくなります。これを推進していくには、皆さまのご理解とご協力がどうしても必要です。どうぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。